

宗男女懇第3号  
令和7年8月29日

宗像市長 伊豆 美沙子 様

宗像市男女共同参画推進懇話会  
会長 石山 さゆり



第3次宗像市男女共同参画プランにかかる令和6年度実施状況  
報告に対する評価及び意見について

「第3次宗像市男女共同参画プラン」に基づく令和6年度実施状況について審議した結果を以下のとおり提出します。

【プラン全体の進捗について】

今年度は「第3次宗像市男女共同参画プラン」を評価する4年目の年です。評価の方法は5つの基本目標毎の評価シートに基づき、男女共同参画推進課（以下、事務局）が、市の各担当課が実施した事業の実績、今後の取り組み課題などについて集約、評価したのち、その内容を男女共同参画推進懇話会（以下、懇話会）で審議するかたちで行っています。基本目標毎の達成度を改めて懇話会でA（十分達成している）からD（達成していない）として評価しています。今年度の評価は、事務局、懇話会ともにすべてA、B（ある程度達成しているが一部課題が残る）という結果でした。事務局評価と懇話会評価は、基本目標1～5すべてで一致する結果となったものの、評価を行うための指標の設定については課題が残る結果となりました。

毎年度、事務局が実績・評価報告を行い、委員毎に評価シートを作成し、シートに基づいて懇話会で集約しているのは、内部と外部の両方の視点から「事業の検証」を行い、「事業の改善」を進めていくことが目的です。しかしながら、現在の事業目標と実施状況に基づく報告の形態では、プランに掲げる基本目標に対し「どのような成果」につながったのかが分からず、外部の立場からプランそのものの検証・評価が難しい状況です。

次期プランからは、3次プランでの課題を解消できるよう、基本目標の進捗状況が示せるような指標（成果）を設定するとともに、その成果につながる具体的な事業であったかを外部から検証・評価できるような仕組みを導入していただくようお願いいたします。

【基本目標ごとの評価及び意見について】

別添「第3次宗像市男女共同参画プラン 令和6年度実施状況（重点項目）及び評価」のとおりに

# 第3次宗像市男女共同参画プラン

令和6年度実施状況(重点項目)及び評価

令和7年8月

宗像市

事務局記入欄	基本目標	1 地域・社会活動における男女共同参画						
	基本施策	(1)地域における男女共同参画の推進 (2)意思決定過程における女性の参画促進						
	事業評価 (自己評価)	達成度	A	B	C	D	E	計
		事業数	2	5	2	0	0	9
	施策の進行状況	○審議会の登用率:(R5)37.8% → (R6)36.9% ※0.9ポイント減 ○地域の女性登用の推進:自治会負担軽減の取り組みと併せて地域活動への女性参画の実態把握に努め、コミュニティ運営協議会役員の女性比率は増加した。						
	主な事業の実施 状況 ※重点項目に対応する事業のみ記載	<b>(1)地域における男女共同参画の推進</b> <b>重点目標</b> 地域や事業所におけるリーダー人材の育成と活躍推進を支援する取り組みをすすめます						
		<b>2 地域活動におけるリーダーの発掘・養成・活用</b> ○コミュニティ運営協議会役員研修会 1回、自治会会長合同研修会 1回(自治会事例発表、有識者講話) ○健康づくりリーダー養成講座実施(25人参加) ○食生活改善推進教室開催(22人修了) ○食生活改善推進会主催男性料理教室の活動を支援 <b>3 地域の役職への女性参画促進</b> ○地域の実情把握のため、地域役員の女性登用の調査を実施 ・コミュニティ運営協議会ごとの女性役員の割合:平均17.2% ・女性自治会長の割合:8.5%(141自治会中12人) <b>4 防災災害時における男女共同参画の推進</b> ○防災会議女性委員38人中7人 ○男女共同参画推進センターで防災関連講座2回(主催・共催)を開催 <b>(2)意思決定過程における女性の参画促進</b> <b>重点目標</b> 市の各種審議会への女性登用率向上に努めます <b>5 審議会等委員への女性参画促進</b> ○委員委嘱時に、女性の登用促進について、男女共同参画推進課が審議会担当課と協議を行った件数43件						
	目標値と実績	目標			実績			
		審議会への女性委員の登用率			R6.4.1時点調査			
		女性委員の比率40%以上			36.9%			
今後の取り組み・課題	○地域の女性役員登用の推進や地域リーダー育成の働きかけについては、それぞれの地域の実情に沿った取り組みが必要である。 ○審議会の女性登用率は前年度比0.9ポイント減となった。目標40%を達成するため、審議会担当課からの情報収集による実態把握やコミュニティ協働推進課との連携強化により、引き続き女性登用の働きかけを行っていく。							
事務局評価	B(ある程度達成しているが一部課題が残る)							

懇話会記入欄	懇話会評価	B(ある程度達成しているが一部課題が残る)
	委員評価 コメント	<p><b>[3 地域の役職への女性参画促進]</b></p> <p>○女性の参画とともに、多世代の担い手がかかわることが望まれる。現在の業務を見直し、より簡素化し、あるいは複数人を配置するなど、役員は大変という認識を払しょくする工夫を提案してはどうか。</p> <p>○今後も引き続き、女性が役員や自治会長になることは、多様な意見を取り入れることにつながることを説明し、登用を働きかけてほしい。</p> <p>○市から地域に対して「女性役員の参画の意義の説明や登用の依頼」を行うことで、どれだけ「地域の役職への女性参画促進」につながっているのか・成果をあげているのかのしっかりとした検証が必要である。地域のなかで「女性が役員になりにくい」ボトルネックがあるなか、それを解消せずに市から声を掛け続けても、肝心の課題はいつまでも改善には向かっていかない。</p> <p><b>[4 男女共同参画の視点による防災活動の推進]</b></p> <p>○能登半島地震の被災者によると、避難所での女性目線でのケアが足りないとのことである。本市でも防災会議女性委員を増やし、多様な意見を反映させることは重要である。</p> <p>○防災会議における女性委員が、やはり少ないので、委員に関係機関の長が就任していただくというシステムを変えてみてはどうか。</p> <p>○防災災害時における男女共同参画はぜひ推し進めてほしい。</p> <p><b>[5 審議会等委員への女性参画促進]</b></p> <p>○登用に当たっては、審議会ごとに男女比、年齢比の目標を決め、団体に一任するだけでなく、目標により近い数への調整を相談してはどうか。</p> <p>○女性委員の登用率が、前年度比でダウンしているものの、健闘している。ただ、数字のみに注目するのではなく、なぜ女性委員が増えないかという問いへの究明を、市でも検討してほしい。</p> <p>○委員就任にあたって事前協議に取り組まれたことは評価する一方で、事前協議だけでは女性委員の割合が増えていない審議会については構造的な分析と、それを解消できるような割合についてのルールの明確化などのアプローチも一緒に考える必要がある。</p> <p><b>[全体]</b></p> <p>○「地域における男女共同参画の推進」については、コミュニティ運営協議会や自治会に担当部署が具体的にどのように働きかけていくかが課題であり、その仕組みをどう作っていくかが重要となると考える。地域での人材の育成と共に、参加しやすい体制づくり、女性参画の必要性の理解等を含めて、総合的に推進することが望まれる。</p>

(評価項目1)

事務局記入欄	基本目標	2 働く場における女性の活躍推進						
	基本施策	(1)職場における男女共同参画の推進 (2)女性の能力と意欲に応じた就業の促進						
	事業評価 (自己評価)	達成度	A	B	C	D	E	計
		事業数	13					13
	施策の進行状況	<p>○市内41事業所を訪問し、啓発と情報提供、実態把握に努めた。</p> <p>○起業も含めた自分らしい働き方、生き方について考えるきっかけづくりを支援する視点を加えた、女性のための将来設計セミナー(全3回)及び個別相談(希望者)を年2回に拡充して実施するとともに、宗像市リカレント教育支援事業補助金を創設し、資格取得から就職につなげる支援の充実を図った。</p>						
主な事業の実施状況 ※重点項目に対応する事業のみ記載	<p><b>(1) 職場における男女共同参画の推進</b></p> <p><b>重点目標</b> <u>働く場において、女性のキャリアアップに資する情報の提供や、就業・再就職の支援を行います</u></p> <p><b>6 事業所への啓発促進</b></p> <p>○男女共同参画を含む人権についての事業所研修 7事業所 199人 各事業所の所属団体への案内を個別に行うことで、新たな事業所での研修実施につながった。</p> <p>○事業所への訪問啓発 市内20人以上30人未満の従業員がいる事務所 41箇所</p> <p><b>7 制度等の周知及び情報提供</b></p> <p>○事業所への訪問啓発でのリーフレットを配布し、ワーク・ライフ・バランスや育児・介護休業制度についての情報を提供(「6」再掲)</p> <p><b>9 女性の職域拡大の推進</b></p> <p>○(市職員対象)キャリア形成のための研修を実施、また、外部研修に関する情報を提供</p> <p><b>11 就労に関する情報提供と就労・再就職・キャリアアップ支援</b></p> <p>○県が実施する就労相談や講座等の情報の広報(9回)</p> <p>○高等職業訓練促進給付金支給12人</p> <p>○自立支援給付金支給1人</p> <p>○資格取得講座</p> <p>「CS エクセル 3 級検定」(受講 10 人、資格取得者 5 人)</p> <p>「CS ワード 3 級検定」(受講 10 人、資格取得者 9 人)</p> <p>「CS エクセル 2 級検定」(受講 10 人、資格取得者 6 人)</p> <p>○起業・就職支援セミナー</p> <p>「女性の就職応援セミナー さあ探そう!私に「ピッタリ」の働き方」(13人参加)</p> <p><b>(2) 女性の能力と意欲に応じた就労の促進</b></p> <p><b>重点目標</b> <u>女性の起業支援の取り組みをすすめます</u></p> <p><b>10 女性起業家等の育成・支援</b></p> <p>○中小企業小口事業資金保証料補助金の支給 (74件 13,319,379円、うち女性7件)</p> <p>○起業化支援利子補給補助金の支給(新規創業者支援) (18件 780,941円、うち女性4件)</p>							

		○宗像市商工会・fabbit 宗像と連携し、創業セミナー、伴走型創業支援プログラム及び個別相談を実施(fabbit 宗像活用女性創業者 2人)
目標値と実績	目標	実績
	fabbit 宗像利用して創業した女性の数	R6の創業者数
	3人(R4までの累計)	2人(累計6人)
	市の役職者(企画主査)以上に占める女性の割合	R6の女性の割合
	30%	28.1%
今後の取組み・課題	<p>○事業所訪問や講座等を実施し、職場における性別役割分担意識の解消と女性活躍推進のための啓発に取り組む。SNSも活用しながら、多様な世代への情報発信に取り組む。</p> <p>○結婚・出産・育児・介護等のために離職した女性を対象に再就職支援に取り組む。セミナー参加や補助金の活用促進に向けて、支援制度の情報提供を強化する。</p>	
事務局評価	A(十分達成している)	
懇話会評価	A(十分達成している)	
懇話会記入欄	委員評価コメント	<p><b>[6 事業所への啓発促進]</b></p> <p>○事業所へのアンケートは、事前に紙媒体で実施し、男女共同参画の意識やワーク・ライフ・バランスの概念の理解度を尋ね、実施後に、理解の定着度を測るための簡単な質問を加えた確認を実施してはどうか。その際に、参加者の感想やコメント欄、質問も用意し、理解の浸透を深めるのはどうか。</p> <p>○市内の事業所 41社を訪問し、啓発およびアンケート実施に取り組まれたことは評価する。事業所訪問で得られた現場の声や関係性をもとに、「職場における男女共同参画の推進」に寄与するさらなる施策やアクションの創出へとつなげて頂きたい。</p> <p><b>[10 女性起業家等の育成・支援、11 就労に関する情報提供と就労・再就職・キャリアアップの支援 共通]</b></p> <p>○引き続き、きめ細やかな支援をお願いしたい。どのような支援を求めているか等、参加者のニーズ把握にも努めて頂きたい。また、新規の起業支援だけでなく、必要な情報提供、相談への対応等含めて、起業後の起業家への伴走も、できる範囲でお願いしたい。</p> <p><b>[11 就労に関する情報提供と就労・再就職・キャリアアップの支援]</b></p> <p>○資格取得講座の受講者に対して資格取得者が少ないのは勿体ないので、合格率があがるよう、講座の充実をお願いしたい。</p> <p>○就労に関する情報提供と就労・再就職・キャリアアップ支援をますます取り組んでもらい、多くの女性たちに情報が届いてほしい。</p>

**[12 農業経営における就労条件・就労環境の整備]**

○JA むなかたによる農作業ヘルパー紹介事業支援は今後も継続をお願いしたい。このような形で農業に従事する人が増えることで、その人たちを通じて農業が持つ魅力が広がると思う。食の安全に関心を持つ人が、従事者の支援をしたいなど、農業につながる人が増え、広く参加者のすそ野が広がることに、つながる可能性も持っていると思う。そしてこれは、商・工・農林水産業全般について、従事者を対象にした情報提供に限らず、商・工・農林水産業の世界が持つ魅力の発信に、取り組んで頂きたい。

**[全体]**

○退職後のシニア世代の働き方セミナーなどにも取り組んで頂きたい。さらに、非正規雇用が正規雇用につながるための支援制度を考えて頂きたい。

○結婚・出産・育児・介護等のために離職した女性の再就職支援に、引き続き、資格取得支援、補助金の活用など、情報提供に努めてほしい。

○施策の取組として、R5年度の住民意識調査の結果からみても進んできていることはわかるが、十分かどうかは判断することが難しい状況である。今後も継続して事業所や団体等に対する支援や働きかけを行ってほしい。

(評価項目2)

事務局記入欄	基本目標	3 ワーク・ライフ・バランスの推進						
	基本施策	(1)ワーク・ライフ・バランスの啓発推進 (2)子育て・介護支援の充実						
	事業評価 (自己評価)	達成度	A	B	C	D	E	計
		事業数	6	2	0	0	0	8
施策の進行状況	<p>○性別にかかわらず家庭参画する意識向上のため、講座等を通じ意識啓発に取り組んだ。</p> <p>○幼児教育・保育・学童保育事業、母子保健事業、介護保険事業等を通じ、家庭における育児・介護負担の軽減を図った。特に、保育・学童保育は施設整備等を行い、待機児童ゼロを維持するために取り組むとともに、病児保育の送迎サービス実施により保育サービスの充実を図った。</p>							
主な事業の実施状況 ※重点項目に対応する事業のみ記載	<p><b>(1)ワーク・ライフ・バランスの啓発推進</b></p> <p><b>重点目標</b> 男性が家事・育児・介護等の家庭生活や地域・社会活動に積極的に参加できるよう制度の周知・啓発を行います</p> <p><b>13 啓発の促進</b></p> <p>○市職員に両立支援ハンドブックの周知と制度情報提供(男性育休取得者8人)</p> <p><b>14 男性の家庭参画の促進</b></p> <p>○男性料理教室1回12人参加、父子料理教室2回24組</p> <p>○子育て支援センターの男性利用者:R6年度実績:378人※施設利用と講座参加の合計(R5年度実績233人から増加)</p> <p><b>(2)子育て・介護支援の充実</b></p> <p><b>重点目標</b> 介護や育児に対し、保育園等の整備や育児・介護にかかわる相談対応の充実等を図り、仕事と家庭が両立できる環境づくりに取り組みます</p> <p><b>15 子育て支援事業と相談事業の充実</b></p> <p>○たまご学級(妊婦学級)</p> <p>家族同伴可能なコース数増加、救急のコース数及び定員増加により、家族参加者も増加</p> <p>○育児サロンは地域の依頼に応じて育児相談を実施</p> <p>○夫婦で協力して子育てすることの大切さを考えるワークショップ(大人11人参加うち男性4人)</p> <p><b>16 子育て環境の整備、充実</b></p> <p>○保育士確保策や働く環境を改善するための取り組みの実施(保育フェア、無料職業紹介所、新人保育士の情報交換会、社会保険労務士による巡回支援)</p> <p>○待機児童0を達成</p> <p>○学童保育待機児童数0人維持(夏休みには学校の特別教室を借り上げ)</p> <p><b>17 介護保険制度の趣旨啓発と情報提供</b></p> <p>○パンフレット「みんなで支える介護保険」の作成、事業所や窓口での配布及び制度の趣旨啓発</p> <p>○サービス事業所一覧を更新し、窓口の介護相談等において情報提供</p>							

	目標値と実績	目標	実績
		待機児童数	R7. 4. 1時点待機児童数
		0人(R6までに)	0人
事務局記入欄	今後の取組み・課題	<p>○健診や各相談、たまご学級等の機会を活用し、性別にかかわらずともに家庭参画する意識向上に取り組む。</p> <p>○待機児童0の維持のため、引き続き保育士確保と環境整備等に努める。</p> <p>○介護負担軽減のため、引き続き介護保険をはじめとするサービス・制度の周知に取り組む。</p>	
	事務局評価	B(ある程度達成しているが一部課題が残る)	
懇話会記入欄	懇話会評価	B(ある程度達成しているが一部課題が残る)	
	委員評価コメント	<p><b>[14 男性の家庭参画の促進]</b></p> <p>○“おとこの厨房～入門編は、実施方法や内容の見直しを検討したり、季節に合わせた時短メニュー、予算内でできるメニューなど、バリエーションがいくつかあったりすると良いのではないかと。</p> <p><b>[14 男性の家庭参画の促進、15 子育て支援事業と相談事業の充実 共通]</b></p> <p>○センター講座において、男性参加者は各 10 人前後にとどまり、またこれら男性は「家庭参画」がある程度できている層が中心であると考えられるため、事業 14、15 の取り組みでは、少ない定員の範囲でしか男性が参加できず、宗像市全体の参加促進につながっているのか疑問である。「男性の家庭参画の促進」を市の施策として本気で進めていくのなら、「すでにできている男性」以外の層にどのようにアプローチし、啓発を広げていくのかを考えることが重要である。</p> <p><b>[16 子育て環境の整備・充実]</b></p> <p>○学童保育所の待機児童ゼロへの取り組みは、とても評価でき、今後も継続できるようにお願いしたい。また、病児保育の送迎サービスも、働く親にとっては、とてもありがたい。</p> <p><b>[17 介護保険制度の趣旨啓発と情報提供]</b></p> <p>○介護保険制度の趣旨啓発と、情報提供に加えて、窓口相談に来ることができない介護者も含め、介護者が抱える困りごとや、支援のニーズについても、関係機関と連携しながら把握に努めて頂きたい。</p> <p><b>[全体]</b></p> <p>○子育て・介護にかかわる労働者への施策は充実してきたと思うが、働く職場においては、それ以外の方たちにしわ寄せがいく現状もある。ワーク・ライフ・バランスの推進にはすべての人が働きやすい環境を整える必要があるため、その人たちの意見を聞くことも必要である。</p>	

		<p>○ワーク・ライフ・バランスの推進については、制度や仕組みの整備とともに、意識改革が重要であり、特に、子育て世代の男女への働きかけについては、PTA への働きかけ等、組織的な啓発が必要である。</p>
--	--	--

(評価項目3)

事務局記入欄	基本目標	4 誰もが安全安心に暮らせる社会づくり						
	基本施策	(1)配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援 (2)ハラスメント等の防止 (3)生涯を通じた女性の健康支援 (4)貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人が安心して暮らせる環境の整備						
	事業評価 (自己評価)	達成度	A	B	C	D	E	計
		事業数	25	3	1	0	0	29
	施策の進行状況	○さまざまな場、媒体を活用して相談窓口の周知と、暴力を許さない意識の醸成を目指した啓発を実施した。 ○関係機関と連携し、DV・ハラスメントへの対応を行った。また、市関係職員を対象に相談者の対応・支援についての研修会を開催し、意識向上に取り組んだ。 ○DV・貧困・高齢・障害等により困難を抱えた人が相談できるよう、窓口周知と支援を行った。						
主な事業の実施状況 ※重点項目に対応する事業のみ記載	<b>(1) 配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援</b> <b>重点目標</b> あらゆる世代に対し、DVをはじめとした暴力やハラスメントを許さない意識の啓発に努めます <b>18 DV等の防止に向けた取り組みと啓発活動の実施</b> ○市広報紙 DV 防止啓発記事掲載 1 回 ○DV 週間に男女共同参画推進センター・市役所・市民図書館での関連展示、市内街頭啓発を実施 ○地域イベントにおいて啓発ブース出展 1 回 <b>23 ハラスメント等の防止に関する啓発や相談の実施</b> ○講座「対等な関係築けていますか?～知ってほしい、DV について～」8 人参加 ○(教職員対象)ハラスメントアンケートを実施、個別案件への対応 ○(市職員対象)ハラスメント防止に関する情報の提供、職員アンケートの実施後衛生委員会へ報告し改善に努めた <b>重点目標</b> さまざまな媒体を活用し、DV等の相談窓口の周知を行います <b>21 相談窓口・相談事業の周知</b> ○市民に対する周知 相談窓口認知度 (R5)67%→(R6)62% ○街頭啓発チラシによる周知、回覧文書(他事業チラシ裏面)のほか、市内公共施設へ相談先案内カード設置  <b>重点目標</b> 関係機関と連携し、DV等被害者の保護と支援の体制づくりを行います <b>19 DV対策事業に関する職員への啓発</b> ○庁内掲示板を活用したDVに関する知識等の啓発(男女共同参画週間に合わせて全3回)							

事務局記入欄		<p><b>20 被害者支援に関する体制づくり</b> ○DV庁内連携会議開催 1回(担当職員研修を同時開催)</p> <p><b>22 関係機関との連携強化</b> ○年間相談件数(相談内容にDVが関連するもの、のべ数)     こころと生き方の相談:53件、女性支援相談:247件 ○住民票発行抑止 188件、420人(うち、市外92件、188人) ○警察・児童相談所・他相談機関との連携</p> <p><b>32 多様な性の理解の推進</b> ○講座「性教育は生きる教育・生教育～命の大切さを伝える～」21人参加、「お互いに違いを尊重できる社会へ～もっと知りたい!LGBTQとSOGIE～」12人参加 ○講演会「これからの男の子たちへ～「女らしさ」「男らしさ」からの卒業～」54人参加(録画視聴116回)</p>	
	目標値と実績	目標	実績
		DV相談窓口周知度	R6年度実施市民アンケート
		80%	62%
今後の取組み・課題	<p>○DV防止に向けた啓発や相談窓口の認知度向上のため、SNSの活用等、広報活動を行う。</p> <p>○DV被害者等の相談しやすい環境づくりと安全確保のため、引き続き関係部署間の連携強化に取り組む。</p> <p>○多様な性についての講座を継続して実施する。</p>		
事務局評価	A(十分達成している)		
懇話会記入欄	懇話会評価	A(十分達成している)	
	委員評価コメント	<p><b>[18 DV等の防止に向けた取り組みと啓発活動の実施]</b> ○講座への参加者を増やすため、中・高生などの若年層へのデートDV防止の啓発を学校で行ってはどうか。(県では、デートDV防止のために学校に講師を派遣している。) ○講座の周知方法などを工夫し、より多くの人に観て頂けるようにして頂きたい。地区コミュニティのまつりに参加されたことも、さまざまな世代の市民の方に情報を伝えるチャンスが増えるので、画期的なことであると思う。できれば継続して頂きたい。</p> <p><b>[21 相談窓口・相談事業の周知]</b> ○DV防止に向けた啓発や相談窓口の認知度が特に男性が低いので、男性への啓発が必要ではないか。</p> <p><b>[24 リプロダクティブヘルス/ライツの啓発]</b> ○リプロダクティブヘルス/ライツは、とても大切な概念であるので、引き続き、</p>	

	<p>啓発のための活動をお願いしたい。心身ともに健やかであることは、家庭にとっても、夫婦にとっても、そして親子にとっても、とても大切なことである。大切な人の健康を、地域全体で、社会全体で守るという発想が、徐々に浸透していくと良い。</p> <p><b>[27 高齢者の社会参画の支援]</b></p> <p>○講座の参加者に男性の高齢者も想定されているのであれば、コンテンツにも工夫があると良い。</p> <p>○シルバー人材センターとシニアクラブが連携して、引き続き、高齢者の雇用・就労の機会の確保に努めて頂きたい。</p> <p><b>[29 相談支援事業の実施]</b></p> <p>○介護者の方がリフレッシュできる場があることは、とても大切なことだと思う。年3回の開催とあるが、可能であれば、もう少し増やして頂きたい。介護者にとっての困りごとの把握、孤立化の防止、そして介護離職の防止に向けて、必要な情報提供や支援をお願いしたい。</p> <p><b>[32 多様な性の理解の推進]</b></p> <p>○講座への参加者が少ないように思われるため、録画配信など手法の検討に加え、今後も継続をお願いしたい。</p> <p><b>[全体]</b></p> <p>○ハラスメントや DV 等は、実態が複雑化しているため、現在実施している各種相談の内容の取りまとめや他課との連携を引き続き行ってほしい。</p>
--	---

(評価項目4)

事務局記入欄	基本目標	5 男女共同参画社会の実現に向けた啓発						
	基本施策	(1)教育の場における男女共同参画 (2) 男女共同参画意識の浸透 (3) 国際交流等による男女共同参画社会の理解の推進						
	事業評価(自己評価)	達成度	A	B	C	D	E	計
		事業数	7	6	0	0	0	13
	施策の進行状況	○男女共同参画推進センターの共催講座や地域コミュニティとの交流、活動支援を通して、地域における男女共同参画意識の向上に取り組んだ。 ○たまご学級では、家族で参加できるコースを増やし、家族の参加者が増加した。 ○国際理解を深めるため、講座や学校での国際交流事業、ホームステイ事業を継続して実施した。 ○さまざまな場、媒体を活用して、男女共同参画啓発に取り組んだ。						
主な事業の実施状況 ※重点項目に対応する事業のみ記載	<b>(1)教育の場における男女共同参画</b> <b>重点目標</b> 男女共同参画推進センターを拠点とし、男女共同参画の市民啓発を行います <b>34 教職員への啓発</b> ○中学校ブロックごと人権同和の取り組みを協議し、活動を実践交流会で発表、また、全職員対象の講演会開催。 <b>35 性別にとらわれない社会体験教育等の推進</b> ○職業体験は感染拡大防止のため中止、学校ごとに職業講話等実施 <b>36 教育現場における性教育等の推進・充実</b> ○全校に対し、学習指導要領に基づいた性に関する指導等の実施 <b>37 男女共同参画の視点に立った家庭教育学級の推進・充実</b> ○家庭教育学級・出前講座の実施 全講座 5 回、74 人参加 <b>38 出産前教育の充実</b> ○父子手帳(第 1 子希望者)の交付 ○たまご学級(両親参加可)を通じ、男女がともに子育てを担う意識の醸成(のべ参加者数:妊婦 230 人・産婦 4 人、家族 128 人) ○中学生対象の妊婦や育児の体験学習を通じ、性別にかかわらず子育てに参加する意識の醸成 3 校実施 <b>39 学習機会の提供・地域に応じた啓発</b> ○地域との共催講座の実施 2 地区3回 52人参加 <b>(2) 男女共同参画意識の浸透</b> <b>重点目標</b> 関係各課が連携し、地域との協働のもと、さまざまな機会・媒体を活用した啓発を行います <b>40 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣習・慣行についての啓発</b> ○講座・講演会 年間計 36 講座 69 コマ のべ 1,082 人参加(男女共同参画センター)							

事務局記入欄		○広報紙(5回)等を通じた啓発 <b>41 さまざまな媒体を通じた情報提供</b> ○市広報紙への特集記事掲載、街頭啓発(男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間、女性の健康週間、同和問題啓発強調月間、人権問題啓発強調期間等)	
	目標値と実績	目標	実績
		男女共同参画という言葉を知っている市民の割合	R6 年度実施市民アンケート
		80%	51%
	今後の取組み・課題	○各種媒体を活用した市民啓発に取り組む。より多くの市民に事業が届くよう、特にホームページの活用や講座の録画配信機会を増やすなどの取り組みを引き続き強化する。 ○若年層や子どもにかかわる市民に対し、男女共同参画やDV・性被害防止等に関する正しい理解の啓発に取り組むとともに、事業関係者に必要な情報が伝わるよう細やかな周知に取り組む。 ○地域コミュニティに働きかけ、地域と一緒に開催する啓発講座を増やしていく。	
事務局評価	A(十分達成している)		
懇話会記入欄	懇話会評価	A(十分達成している)	
	委員評価コメント	<p><b>[35 性別にとらわれない社会体験教育等の推進]</b> ○「むなかた子ども大学」の趣旨は素晴らしいと思う。性別にとらわれることなく、個人の能力を軸にして、職業を選択できることの理解が定着するよう、それぞれのプログラムを通して、子どもたちに学ばせてほしい。</p> <p><b>[36 教育現場における性教育等の推進・充実]</b> ○教育現場における性教育等の推進・充実については、講師を招聘した学習による内容充実も大事な視点であると思うが、その前後の学習を含め、性に関する指導を学園(9年間)でどのように系統立てて指導していくかを明確にしておくことが大切である。</p> <p><b>[38 出産前教育の充実]</b> ○出産前教育の充実は素晴らしい。</p> <p><b>[40 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣習・慣行についての啓発]</b> ○男女共同参画週間講演会の参加者が近年多いと思う。引き続き開催して頂き、当日会場へ足を運ばなかった人向けに、動画配信もお願いしたい。 ○「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣習・慣行についての啓発」を推進するにあたり、全国及び宗像市内の「職場」や「各コミュニティ」等のそれぞれの現状と課題をしっかりと把握・分析した上で、それに沿った施策や事業、情報提供を展</p>	

	<p>開していくことが重要である。</p> <p><b>[41 さまざまな媒体を通じた情報提供]</b></p> <p>○アンケートでは、「男女共同参画」という言葉を知っている市民の割合が R4 からだんだん減少している。目標は 80%を目指しているので、意欲をもって取り組んでほしい。</p> <p>○「男女共同参画」の言葉を知っていただくことで興味を持って頂き、プランについても認知度が上がっていくのではないかと。知っていただくために SNS 広報を行っていく。駅や大規模小売店などに二次元コードを張り出してはどうか。</p> <p><b>[43 国際交流事業の支援]</b></p> <p>○コロナ禍の時より、交流の機会が大きくなったことは良かった。そこに加えて、オンラインを活用した学びの機会の提供(海外の学校で学ぶ子どもたちとの交流)を検討してほしい。</p>
--	---

(評価項目5)